

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	千葉剛成
	全体計画						経費区分		-		内線	3630
事務事業名	4316 臥竜山公会堂管理事業											
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課											
施 策	04011800 生涯学習の機会充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100607 教育費・社会教育費・臥竜山公会堂費										
	事業	010000 臥竜山公会堂管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理に努めていく。						自然豊かな臥竜公園に位置することから、市民の憩いの場、交流の場として施設充実を図っていく。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
施設等の点検整備に努め、利用者の利便性を図った。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。

指標名	臥竜山公会堂利用者数						
算式						単位	人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標	4,000	4,000	3,500	3,500	3,500	
	実績	3,007	3,062	4,086	2,923		
指標選定の理由	平成27年度3,290人、平成28年度3,007人、平成29年度3,062人を参考とした。						
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		1,325	1,573
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	212	250
一般財源		1,113	1,323
人員数 (人)	正規職員	0.3	0.0
	嘱託職員	0.0	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	2,179.5	0.0
	嘱託職員	0.0	848.7
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,179.5	848.7
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		3,504.5	2,421.7

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	847	消耗品費80、燃料費86、光熱水費680
13節 委託費	24	シルバー人材センター管理業務委託24
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	454	臨時職員賃金399 等

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	889	燃料費58、光熱水費712、修繕費42
12節 委託費	120	支障木伐採委託料85、シルバー人材センター管理業務委託35
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	564	会計年度任用職員報酬440 他

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	市民の憩いの場である臥竜公園に位置し、イベント開催に対応する大きな和室から、交流の場として機能を持つが、コロナ感染拡大以前から需要が減少傾向にある。トイレの洋式化により市民の生命を守る避難所としての機能の向上が図られた。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	南部地域公民館に隣接しているため、地域や継続的な利用を行う団体を主体とする事業の活用を図った。年度末はコロナ感染症による利用自粛などの影響から利用実績が落ち込んだ。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	受益者負担から冷暖房施設使用料の徴収を実施し、コスト削減に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

コロナ感染症拡大防止に伴う新しい生活様式に沿って、感染防止策と大空間の有効活用の両立を図っていく必要がある。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント	
臥竜公園エリアの官民連携事業を視野に入れながら、施設利用の方策を検討する。	

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
2次評価コメント	
臥竜公園エリアの官民連携事業の展開も視野に入れながら、施設の在り方を検討する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	